


令和元年度 大学生・短期大学生による食育キャンペーン 実施報告書

記入日：2020年 1月 25日

グループ名	石川県立看護大学 垣花渉ゼミ
活動名	「食と健康」の異世代交流をととした大学生の「健康弁当」創作
<p>活動詳細</p> <p>〈記載事項(例)〉</p> <p>日時(期間)</p> <p>対象・参加者数</p> <p>場所</p> <p>目的</p> <p>内容</p>	<p>日時：11月8日 対象：小学校6年生(16名)、看護大学生(3名)、住民(4名) 場所：かほく市立大海小学校 目的：世代間交流で「健康な食事」を考えること 内容：小学校の公開授業を利用し、学生はゲストティーチャーとして「健康な食事」の授業を担当した。小学生・大学生・住民が混じるグループに分かれ、学生考案の「健康弁当」の中身をみて、感じたことを話し合った。次に、「健康弁当」を食べて感じたことを話し合った。「味付けがいろいろあり、野菜もたくさんとれた」「石川県の郷土料理を知らなかったが、とても美味しかった」「健康になれるように、調理や彩りの工夫がされていた」などの意見があがった。</p>  <p>日時：12月3日 対象：看護大学生(82名) 場所：石川県立看護大学 目的：地産地消にもとづく「健康弁当」の試作 内容：「健康弁当」に対する小学生や住民の要望を受け取った学生は、「幅広い世代に好まれる弁当づくりに取り組んでほしい」ことを、今年度の「健康弁当」を創作する学生へ伝えた。下級生はその要望に応えるための「健康弁当」の試作に取り組んだ。</p>



日時：1月20日

対象：看護大学生（6名）

場所：石川県立看護大学

目的：「健康弁当2020」の共同開発

内容：12月に「健康弁当」を試作した学生のうち6名が有志となり、地元の弁当業者や行政の栄養士と協働して「健康弁当2020」を仕上げた。共同開発したものをお披露目する会を、2月29日に予定している。



感想、参加者の反応、
工夫した点等

「健康弁当2020」を共同開発した学生は、地域の要望に対するプレッシャーが相当あったそうである。それをバネに新たな「健康弁当」を創作できたことに安心感を得たようである。併せて、自己の食生活を見直すよい機会になったとの意見があがった。

※参考資料等がある場合は、添付して下さい。

※可能な限り、食育キャンペーンに関与した学生を対象に、別紙のアンケートを行い添付して下さい。

※県ホームページ等で紹介しても差し支えない内容としてください（個人名は記載しないで下さい）。

※用紙が不足する場合は、追加してください。